

ようこそ「我が家」へ  
**鳩通信**  
 くぐい (=白鳥) だより



鳩通信(くぐいだより) 第85号  
 発行日: 平成22年 8月1日  
 発行人: 白鳥政之  
 住所: 〒430-0814 静岡県浜松市恩地町192 白鳥内科医院 500円  
 定価:



8月26日(木) ~ 9月7日(火) 夏季休診。具合の悪くなった方は、鴨江の救急または聖隷浜松病院に迷わずご相談下さい。

2010年8月号



看護師・X線技師募集。

「当院での対応が良かった」と感じたあなた。まずは、応募者リストに登録を!

平成二十二年、脳卒中学会「八つの覚書」

その一

四、エコー検査で、頸動脈にプラーク(血管に張り付いたへドロ)が見つかった。あなたならどうする?

頸動脈のエコー検査は、あなたの「動脈硬化の進み具合」を知るための、代表的な検査。重要な血管で、なおかつエコーで簡単に見える動脈は、他にはないからです。

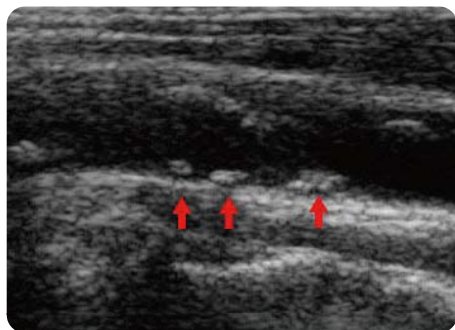
その頸動脈エコーを静岡県内で一番数多くしているお医者さんは、多分私ドクター白鳥。しかし、この検査でプラーク(血管についたへドロ)が見つかったときの対処法は、今まであまり確立されていませんでした。「脳梗塞になりそう

な危険なプラーク」と「まだ様子を見ていいプラーク」の違いが、

分りにくかったのです。今回の学会でも、その対処法はまだまだ議論の途中。でも、エコーで中等度以上のプラークが見つかったら、次はMRTやCT、血管撮影などで「まだやわらかく不安定で危険か?安定し硬くなっているか?」が、だんだんと分かるように。

すでに脳梗塞を起こした危険なプラークの場合は、全身麻酔でCEAというプラークを取る手術を行ったり、局所麻酔でCASという血管を広げるステント(網の目のチューブ)を入れることがあります。かなり危険な手術でしたが、その安全な方法も、少しずつわかってきています。

まだ脳梗塞をおこしていない場合は、コレステロールを下げるお薬(リピトールなどのストロングスタチン)を飲むのが大切。食事と運動だけでは、一旦出来上がったプラークは安定化せず、さらに大きくなる可能性があります。実際、当院の患者さんでも、毎年プラークを観察しているうちにプラークがだんだんと大きくなってきて、リピトールを服用するようになった方が、何人もいらっしゃいます。



頸動脈プラーク

次ページに続く

診察・CT受付



053-427-0007

頭痛・めまい・物忘れ「ねたきり」予防

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	○	○	○	-	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	-	-	○	-	-	-

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

★6月号では「1、脳卒中に一旦なったら、5年後に生きている確率は? 2、減塩も薬も効かない謎の高血圧! 3、あなたの食塩摂取量、実は1日何グラム?」をご紹介します。 2010.8 鳩通信



## 豪&淳 東京だより

「キョービの高校・中学生事情」を教えてください、甥からのお便りです。豪&淳は、子供のいない院長のお友達みたいなもの。ほぼ毎月交互に話題をお送りします。

(その29)

# 高校三年生、豪

## ■本田選手

W杯が終わって大分経つが、移籍など色々な話題を提供してサッカー熱冷めやらぬこのごろ。

期末テスト前から始まったW杯に僕も友人も勉強そっちのけで熱中してしまい、寝不足の日が続いた。まあちゃんに連れていってもらった四年前のドイツの時より、メンバーは劣るよう感じられたものの、直前の予想を覆し日本代表は一次リーグを突破。デンマーク戦では家族で「打て！」と声を上げて盛り上がった。

日本躍進の立役者となった本田選手は試合後のインタビューで「満足していない

次ページは、あなたからの「嬉しい声」↓

い、思ってたより喜べない」などと語っていて、ただただすごいなああと。



本田選手の足形と淳・名古屋にて

## ■大ミラーの舞台

さて夏休みに入って東急文化村シアターコクーンにて蜷川演出「ファウストの悲劇」を観劇した。野村萬斎氏がファウストに、勝村政信氏がメフィストフェレス。長塚圭史や木場勝己、白井晃各氏などそうそうたるメンバーに期待は高まる。

舞台上三面が大ミラーの壁だが、照明の具合で中が透け

たり、奈落が地獄に見立てられていたり、舞台の隅々まで使った演出に目を見張る。

悪魔や天使がワイヤーアクションで飛ぶと、ミラーに映りこんで、沢山の悪魔が見える。時には観客まで全て映り込み、光と闇が交錯し、荘厳な音楽とともに幻想的な世界を作り出す。また煙と花火が効果的に炸裂。隣で観ていた淳も「すごい！」「勝村さんかっこいい」と興奮。

最後は定石通り悪魔に身体も魂もとられてしまうのだが、今まで聞いたこともないほどの長台詞をファウスト演じる野村氏が一人芝居のようにこなし、感嘆した。久々にパワーをもらった舞台だった。



## 第42回

あなたからの

## 嬉しい声♪



浜松市東区大瀬町 堀井みち子さま (仮名、七十四歳)

いろいろな病院、あらゆる民間療法でも効果が無かった頭痛が嘘のように楽に。

私は、昭和11年5月生まれです。

昭和40年頃から現在(平成22年3月12日)まで毎日頭痛に悩まされ続けた生活を送っておりました。今年3月初めに記載されたたびづれ浜松で、脳・頭痛の悩み等に関する広告記事を見つけ、半信半疑の気持ちで病院に伺ってみました(3月13日のことです)。

かつて、いろいろな病院でお薬を頂き、あらゆる民間療法にもお世話になったものの、薬の効果もなく症状の改善は見られなかった私です。

今回、その病院に行く朝まではいつも通りにとてもひどい頭痛に悩まされていたのですが、診察後に頂いたお薬を飲むと不思議なことに痛みが無くなったのです。本当に驚きでした。多くの薬を飲み続けていた私ですが、今では先生が処方してくださった薬(2種)以外は一切飲まず、しかも、あの頭の痛みが嘘のように楽になっています。頭痛を感じない爽快な日が今日で15日目となりました。この間に病院に伺った日は初診の13日と17日、31日の3回です。

## 【ドクター白鳥から】

堀井さんが最初にいらしたのは、今年三月のこと。

三十年来、一日三回、毎日市販薬を飲み続けている、「薬物乱用頭痛」としても手ごわいほうです。

しかし、「薬物乱用頭痛の治療薬デパケンと、吐気止めにナウゼリンを朝晩服用する以外は、一切鎮痛薬を飲まない」という約束を守って頂けました。結果的に、数日で、頭痛と頭重感は消失。その後もたまには頭痛がありますが、頭痛薬を飲むほどではなくなりました。

「薬物乱用頭痛」になるパターンには、ふたつあります。一つには、考え方のクセで「頭痛で家事ができなくなると困る」と考え、痛くもないのに薬を飲みだして、どんどんふえるパターン。もう一つは、特に整形外科などで「緊張型頭痛」と診断(誤診)され、痛み止めを毎日処方され、思いがけず薬物乱用になるパターン。整形外科のドクターは、リウマチなどで痛み止めを毎日処方することがあるため、不用意に処方してしまうこともあるようです。

堀井さんは、今ではデパケンも中止になりました。



頭痛・めまい・物忘れ・「わたきり」予防

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

診察・CT受付は

☎427-0007 まで。